

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公表番号】特表2012-533040(P2012-533040A)

【公表日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2012-520642(P2012-520642)

【国際特許分類】

F 16 K 41/04 (2006.01)

F 16 K 3/24 (2006.01)

【F I】

F 16 K 41/04

F 16 K 3/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月5日(2013.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

荷重を弁パッキンに与えるための装置であって、

荷重をシールアセンブリに提供するように、弁パッキンフランジとストッパフランジとの間に配設される付勢要素を有する、荷重アセンブリであって、前記パッキンフランジは、前記シールに印加される前記荷重を調整するように、前記ストッパフランジに対して調整可能である、荷重アセンブリと、

前記パッキンフランジと前記ストッパフランジとの間の第1の所定の距離を提供するように、前記パッキンフランジの第1の開口または前記ストッパフランジの第2の開口に連結される、第1のガイド部材であって、前記第1のガイド部材は、前記パッキンフランジおよび前記ストッパフランジが前記第1のガイド部材によって提供される前記第1の所定の距離だけ離間された時に、前記荷重アセンブリによって提供される第1の所定の荷重の指示を提供する、第1のガイド部材と、

を備える、装置。

【請求項2】

前記パッキンフランジと前記ストッパフランジとの間の第2の所定の距離を提供するように、前記パッキンフランジの前記第1の開口または前記ストッパフランジの前記第2の開口の他方に連結される、第2のガイド部材をさらに備え、前記第2のガイド部材は、前記パッキンフランジおよび前記ストッパフランジが前記第2のガイド部材によって提供される前記第2の所定の距離だけ離間された時に、前記荷重アセンブリによって提供される第2の所定の荷重の指示を提供する、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記第1のガイド部材は、前記荷重アセンブリが、前記第1の所定の荷重よりも大きい荷重を前記シールに印加するのを機械的に止めるためのものである、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記第1のガイド部材は、前記パッキンフランジの前記第1の開口内、または前記ストッパフランジの前記第2の開口内に配設される、請求項2に記載の装置。

**【請求項 5】**

前記第2のガイド部材は、前記荷重アセンブリが、前記第2の所定の荷重よりも大きい荷重を前記シールアセンブリに印加するのを機械的に止めるためのものである、請求項2に記載の装置。

**【請求項 6】**

前記第2のガイド部材は、前記パッキンフランジの前記第1の開口内、または前記ストップフランジの前記第2の開口内に配設される、請求項2に記載の装置。

**【請求項 7】**

前記第1のガイド部材は、前記第2のガイド部材と同軸に整合させられる、請求項2に記載の装置。

**【請求項 8】**

前記第1の所定の荷重は、前記シールアセンブリに提供される公称パッキン応力を備え、前記第2の所定の荷重は、前記シールアセンブリに提供される最大パッキン応力を備える、請求項2に記載の装置。

**【請求項 9】**

前記ガイド部材は、締結具またはピンを備える、請求項1に記載の装置。

**【請求項 10】**

前記ピンは、前記第1の所定の荷重の指示を提供するように、第1の段付き表面を含む、請求項9に記載の装置。

**【請求項 11】**

前記ピンは、前記第2の所定の荷重の指示を提供するように、第2の段付き表面を含む、請求項10に記載の装置。

**【請求項 12】**

前記荷重アセンブリが、最大の所定の荷重よりも大きい荷重を前記シールアセンブリに印加するのを機械的に止めるように、前記パッキンフランジに着脱可能に取り付けられ、かつ前記ピンと同軸に整合させられる、ストッパをさらに備える、請求項11に記載の装置。

**【請求項 13】**

荷重を弁パッキンに与えるための方法であって、

付勢アセンブリの自由状態に少なくともほぼ対応する位置に、パッキンフランジナットを調整することと、

第1のゲージ部材を第1のフランジに連結することと、

前記第1のゲージ部材の第1の表面と、前記第1のフランジに対向する基準表面との間の間隙を第1の所定の距離に調整することと、

前記第1のゲージ部材の前記第1の表面が前記基準表面と実質的に整合するように、そして前記第1のゲージ部材が前記基準表面と実質的に整合した時に、荷重アセンブリに、第1の所定のパッキン応力を前記弁パッキンに提供させるように、前記パッキンフランジナットを締めることと、

を含む、方法。

**【請求項 14】**

前記第1のフランジから前記第1のゲージ部材を除去することをさらに含む、請求項1  
3に記載の方法。

**【請求項 15】**

第2のゲージ部材の第2の表面と前記基準表面との間の間隙を調整することをさらに含み、前記第2のゲージ部材は、前記第2のゲージ部材が前記基準表面と実質的に整合した時に、前記弁パッキンに提供される第2の所定のパッキン応力の指示を提供する、請求項1  
4に記載の方法。

**【請求項 16】**

前記第1のゲージ部材は、前記荷重アセンブリが前記第1の所定のパッキン応力を前記弁パッキンに提供した時に、前記第1のフランジに対向する第2のフランジに係合する、

請求項1\_3に記載の方法。

【請求項17】

前記基準表面は、前記第1のフランジに対向する第2のフランジの表面、または第2のゲージ部材の第2の表面である、請求項1\_3に記載の方法。

【請求項18】

前記基準表面は、前記第2のフランジに連結され、かつ第1のゲージと同軸に整合させられる、第2のゲージ部材を備える、請求項1\_7に記載の方法。